

心の原風景 —我が母校—

佐渡市立金井中学校

金井中学校は、平成23年度に創立65周年を迎えました。郷土を愛する生徒の育成を目指した教育活動を進める中で、生徒達は自分の生き方を考え、充実した学校生活を送っています。二つの取組を紹介します。

1 地域文化体験活動

1年生の「総合的な学習の時間」では、毎年2学期から、能、日本舞踊、佐渡おけさ（踊りまたは唄・囃子）、鬼太鼓、民話劇の中から一つを選び学習します。学習にあたっては地域の方々を講師にお迎えしていただきます。最初は、声を出したり動きを付けたりに慣れていない生徒も、生徒



佐渡おけさの発表

いに自信をもって大きな声を出したり、伸び伸びと動けるようになったりします。それぞれの芸能の面白さを肌で感じるだけでなく、学習の過程で大事にしている作法や挨拶の大切さなども学んでいます。

学習の成果は、1月中旬の土曜日に発表会を開催し、保護者や地域の皆様に見ていただいています。また、秋の体育祭では、指導を受けてきた生徒の唄と囃子で、佐渡おけさを全校で踊ります。

2 フラワーロード植栽

校門から新保橋までの道沿いでは、金井生き活き塾の皆さんが季節の花を育てています。緑の少年団団員である当校生徒も苗や球根を植える手伝いをボランティア活動の一環として行っています。作業では、生き活き塾の皆さんから植栽の仕方を教わります。作業の間には労いの言葉を掛けてもらい、気持ちの合いひとつときになつていきます。



植栽の様子

◆教育委員会学校教育課（両津支所内）
☎23-4898

ジオパーク、推進日記

12

さあ、ジオパークを 始めよう！

佐渡市のジオパーク推進がまた一歩前進しました。2月25日に行われたミニシンポジウム・基調講演会『私のオススメ！佐渡のジオパーク』では、大勢の方々にお集まりいただきました。

ミニシンポジウムでは、市民講座の受講生6名から講座の感想やジオパークを通して感じたことなどを発表していただきました。

また、午後からは『ジオパークを楽しもう—ジオパークの人になろう—』と題して、渡辺真人さん（日本ジオパーク委員会事務局）による講演がありました。講演の中で、渡辺さんは「佐渡島のジオパーク推進のために、みなさんがまずジオパーク作りを楽しむことが良いジオパークを生みます。ジオパークの鍵は「人」であり、ジオパークを楽しむのも「人」です。どんなに素晴らしい地質・地形があっても、岩



ミニシンポジウムの様子

は語りかけてきません。その資産の素晴らしさを語る「人」がジオパークの楽しさを伝えるのです。」と来場者にわかりやすく話していました。

加えて、「佐渡にはトキや伝統文化などさまざまなありますが、外からは何をしたいかわかりづらいので、それらの豊富な資源や文化をジオパークは大きなストーリーでつなぐことができるかもしれません。」と今後の可能性もお話しくださいます。



ジオパークについて語る渡辺真人さん

普段見ている風景の中にも、魅力的な宝物がたっぶりあります。まず、私たちがそれに気づかなければなりません。みんな佐渡にある宝物さから始めてみませんか？

※この日の模様は、CNS特別番組でも放送しますので、ぜひご覧ください。

◆教育委員会社会教育課 ジオパーク推進室（両津郷土博物館内）
☎23-2100